

このままだと

公共施設の改修・更新に年間約76億円が必要に

沼田市公共施設等総合管理計画で指摘

沼田市は、このほど「沼田市公共施設等総合管理計画」の素案を作成しました。その内容によれば、公共施設は総数 341 施設・総床面積約 30 万㎡を保有しており、一人あたりの面積比では、同規模自治体と比べ約 5 割多い状態にあることを明らかにしています。

人口は約 5 万人が 40 年後には約 2.3 万人になると予測されていますが、現在保有する公共施設を維持するために、大規模改修や更新をしていこうとするなら、今後 40 年間で約 3,000 億円、年間あたり約 76 億円が必要になると試算しています。

このような状況を打破するために「沼田市公共施設等総合管理計画」を策定するというのですが、この問題は、全市民で考えていくことが必要なのではないでしょうか。

福祉施設の管理には指定管理はそぐわない

12月議会で井之川博幸議員が主張



ふれあい福祉センター正面入口

12月議会で「沼田市ふれあい福祉センター」と「沼田市屋内ゲートボール場」の2施設を引き続き社会福祉法人沼田社会福祉協議会を指定管理者とする提案（期間は平成29年4月1日から平成34年3月31日まで）が行われ可決しました。

井之川議員は質疑の中で、「福祉施設については小泉内閣が『指定管理制度』を導入した当時にも福祉施設などは民営化で利益を追求する『指定管理制度』にはそぐわないという意見が多くあったが、今回の2施設についても結局、社会福祉協議会がつづけて指定管理者になっている。社協も利益を追求する団体ではないので、福祉の理念に合うように、以前の『委託制度』に戻すことが必要ではないか」と主張しました。

健康福祉部長は、「そのことも含め今後検討する」と答えました。

事故多発機オスプレイから住民を守って

共産党県議・市議などが市長と懇談



中央は横山市長、右奥は五十嵐副市長、手前は井之川市議、左奥は酒井県議、2人目たなはしせつこさん

1月25日、沼田市役所に日本共産党衆院1区たなはしせつこ予定候補、酒井宏明県議などが横山市長を訪問し、自衛隊と米軍が群馬県、新潟県において実動訓練（フォレスト・ライト 02）を計画していることについて、騒音や事故多発機オスプレイ参加による住民の被害及び不安や心配を解消するために、自治体として政府等に要請をしてほしいという趣旨の申し入れを含み、懇談しました。

これには、五十嵐副市長、井之川、大東両市議が同席しました。

経済建設常任委がミサワホームを訪問

1月11日、沼田市議会経済建設常任委員会が、横塚農工団地内のテクノエフアンドシー株式会社ミサワホーム沼田工場を管内調査の一環として訪問し、会社概要・工場見学など、案内や説明を受けました。

同常任委員会では、毎月市内の会社や工場などを訪問し、事業内容などを調査し、議会として現状把握に努めるとともに、会社の要望なども知ることによって、行政との橋渡しなども行い、沼田市内に定着し、発展してもらえるよう努めています。

2017年1月29日 No.823

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料